

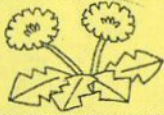
たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760



私は、2003年(平成15年)12月議会の一般質問で、歯の健康は全身の健康につながり、介護予防にも影響、そのためにも歯周病にならないように、市として「40歳・50歳の誕生日検診実施」を要求しました。

国の健康増進法もでき、病気になってから医者にかかるのではなく、予防が大切であること。川西市内でも40歳で平均3本、50歳で平均7本の歯をなくしている結果をふまえ、全身疾患や介護の重度化を予防し医療費の負担を少なくするためにも、市として、成人節目検診の必要性を訴えました。

歯の健康は全身の元気 節目検診実現!

兵庫県歯科医師会・国民健康保険団体連合会で作られている資料をもとに、高齢者が自分の歯を持っている割合が高いほど、医療費がかからない実態も提起。市としても、8020運動(80歳で20本の自分の歯)推進施策として、「誕生日検診」をぜひとも実施すべき、と要求しました。

市内の横断幕でもPRされているように、歯科医師会のご尽力で昨年10月から、20歳から70歳まで、10歳ごとの節目に無料で地域の歯医者さんでの検診がはじまりました。

私は、「川西病院での、後発医薬品の使用頻度をあげ、患者負担を軽減すること」、「市の保健士を十分に配置して、市民の健康を守るための取り組み」なども議会の一般質問でとりあげ、実現にむけてがんばっています。



後援会の方達と白川郷・兼六園に出かけてきました。それはそれはとても素敵な雪景色でした。

子育ての責任は誰がとるのか?

12月の裁判では、認可申請時の「園長」欄の人物が開園前には、園長を降りており、開園後もその人物が「病氣療養中」のため、「長期欠席」になっていた事実を確認。書類上の不備、虚偽記載が問われています。

1月の裁判では、提訴した保護者のことも「保育拒否」していることも確認されました。「認可園は公立園と同様、入所決定されれば保育をしなければならぬ」義務があり、保育拒否はしてはならないことです。

市側の担当者は、それを十分認めながら、「独立した社会福祉法人なので内部干渉になる、細かいもので口を出すのはどうか、という意識はあった。」と陳述しています。

設置義務を担う市として、誰が責任を担うのか、本当に安心の子育てを応援できるのか、が問われています。



みちのこ
静かな正しい
アトリスです?

2月4日(土)より、はじめることができました。よろしくお願ひします。
たんぽぽだより ブログ開設!

<http://kurodamich.exblg.jp>
<http://kurodamich.exblog.jp>

その日、埼玉「さいたまスーパーアリーナ」では、14000人も人が集い、「医療改悪反対! 庶民大増税反対!」の大集会を開催、医療改悪許さない、の決意を固めました。全国各地で、声が、上がっています!

ごまめの歯ぎしり

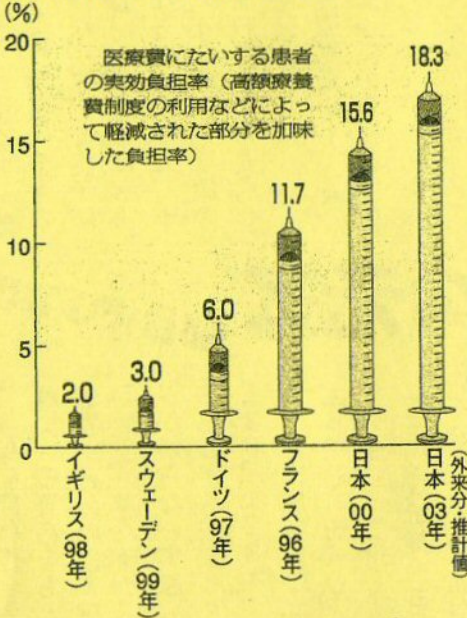
政府が10日提出した医療「改革」法案。高齢者の負担増とともに保険外負担を拡大し、公的医療制度そのものを崩すとんでもない悪法です。

2月9日、医療制度「改正」と課税方式の変更に伴う検証のための、川西市国民健康保険運営協議会を傍聴。

「高齢化・高度医療化は進歩なのに、国の負担を増やさず、患者と医療機関に負担を押しつけるもの」2日本は入院日数が外国に比べて多いというが、外国は、精神科を入れていない。入院を在宅に移行させるためベット数を減らそうとまでしている。「公的負担を減らし、小さな政府が本当にいいのか。だまされてはいけない」。委員さんからの厳しい発言が相次ぎました。

医療改悪 Q&A

異常に高い日本の患者負担

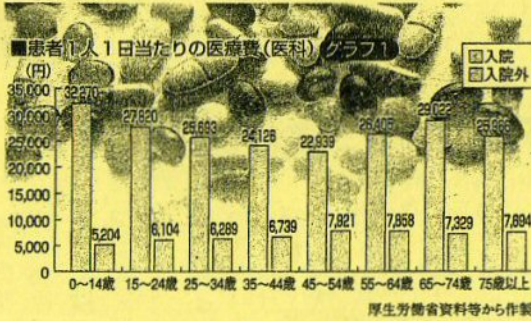


Q お年寄りの医療費は一般の5倍もかかるというけど…。

A 「老人ひとり当たり医療費」としては、すべての老人人口で割った医療費のことです。これが、老人以外の「ひとり当たり医療費」に比べて5倍だということです。財界は、老人医療費が高いから、お年寄りの負担をもっと増やすべきだといっています。

ところが、実際に患者にかかった「患者ひとり1日当たり医療費」で見ると、お年寄りだけが突出して高いわけではありません(グラフ①)。1件当たり診療費は、お年寄りも一般もほぼ同じ。1件当たり受診日数も1.3倍程度です。違ふのは100人当たりの受診率。外来2.7倍、入院6.0倍の差があります。しかし、お年寄り若者が100人ずついれば、お年寄りに病気の人が多いのは当たり前です。

今回のお年寄りの医療費負担増は、団塊の世代を直撃するものであり、将来お年寄りになる現役世代にとっても負担増になります。



国民医療費の負担別構成比 (グラフ2)

年度	国庫より (%)	家計より (患者負担+保険料) (%)	地方 (%)	事業主 (%)
1980	30.4	40.2	5.1	24.0
2003	25.6	45.0	8.5	20.9

Q 国の医療費負担はどのくらいなの？

A 日本の国民医療費は、03年度で31兆5千億円。サラリーマンの保険料の半分は、事業主である企業が負担しています。

だが負担しているのかを分かりやすくするために、国庫、家計(患者負担+保険料)、地方、事業主の四つに分けたものがグラフ②です。

国庫負担の割合は、1980年度の30%から、03年度は25%に減りました。この間、相次いで行われた国民の医療費負担を増やす制度改悪で、国の財政的責任が後退しました。30%だったときに比べると、国の負担は1兆5千億円も減らされました。事業主負担も割合で3.1%、額で約1兆円減少。その分、家計の負担が増えています。

Q 日本の医療費は高すぎるの？

A 国によって経済力が違うため、GDP(国内総生産)に対する医療費の割合で比べると、OECD加盟30カ国中、日本は17位。トップのアメリカの5割、ドイツの7割、フランスの8割です。日本の医療費の水準は、外国に比べて高すぎるというわけはありません。

また、厚労省は、このままだと2025年度の国民医療費が65兆円になるといっています。ところが94年の同省推計では「2025年の医療費は14.1兆円」。過大な推計で、国民を脅すやり方を繰り返しているのです。

小泉内閣は、今国会に国民の医療費負担を大幅に増やす医療改悪法案を出す方針で、大きな焦点になっています。国民に負担増を求める根拠はあるのか。Q & Aで考えました。

坂本健吉記者

Q 日本企業の税金と社会保障負担は？

A 財界は、保険料の事業主負担は限界だといいますが、本当でしょうか。日本とヨーロッパの企業の税金と社会保障負担を比べたのがグラフ④です。

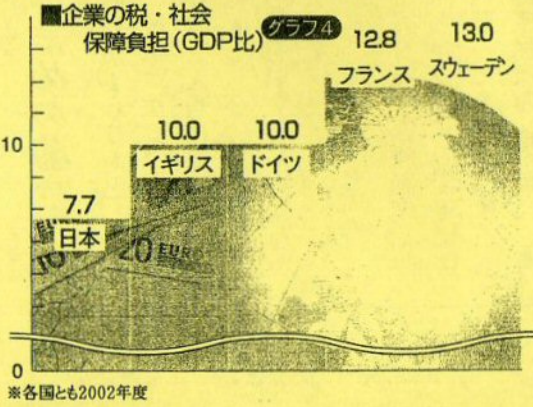
各国のGDPに対する企業の税・社会保障負担の割合を示しています。

日本企業の税・社会保障負担は、GDPの7.7%。フランス、スウェーデンの6割、イギリス、ドイツの8割程度です。日本は保険料を労働者と企業が折半していますが、フランス、スウェーデンなどでは保険料の企業負担割合が高くなっています。また、89年の消費税率導入と比べ、日本の法人税率は42%から30%に引き下げられました。80年代末に20兆円近くあった法人税収が、10兆円程度に減っています。

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望をはこぶ

しんしん
赤旗

日刊●月2,900円 日曜版●月800円



※各国とも2002年度